

令和8年
2026年

3月25日
水曜日

11916号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料〈前納〉
年間 82,080円
(税込み)
6カ月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



プレコフーズがテクニカル試験を実施……P2

- ▶ 年に1回のテクニカル試験に140人が挑戦
飲食店の生産性向上に貢献—プレコフーズ……P2
- ▶ チルド物流研究会とSM物流研究会がチルド食品
物流のガイドライン作成……P3
- ▶ EU25年農産品・食品輸出入額が過去最高を更新、
日本向けは豚肉輸出等減……P3
- ▶ 乳用牛への黒毛和種交配状況、第4四半期全国
で6・9ポイント増……P4
- ▶ [SM販売統計調査2月] 畜産品の売上高は前
年同月比4・0%増……P4
- ▶ [肉豚出荷予測] 4～6月は0・6%減、8月
は8・8%減……P5
- ▶ (株)日本政策金融公庫が食品産業動向
調査を発表……P5
- ▶ ギリシャのレスボス島で口蹄疫の発生を確認……P6
- ▶ スターゼン、畜産由来の温室効果ガス削減の
取り組みを開始……P6
- ▶ デクノバース、ローストビーフの端材を利用した「濃
厚ミートパイ 黒トリュフ」がジャパン・フード・セレクション
でグランプリを受賞……P7
- ▶ 大東園「和牛ハラミフェア」開催……P8
- ▶ 日本ケンタッキー・フライド・チキン、人気鶏竜田バー
ガーを数量限定再販……P8
- ▶ 乳用牛への黒毛和種の交配状況(速報)……P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数] 24日……P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場] 24日……P11

注目のヘッドライン

年に1回のテクニカル試験に140人が
挑戦、飲食店の生産性向上に貢献—プレ
コフーズ

…詳細はP2

チルド物流研究会とSM物流研究会がチ
ルド食品物流のガイドライン作成

…詳細はP3

食の感動体験を創造することで
世界中の人々と食をつなぎ続ける

スターゼン

<https://www.starzen.co.jp/>

とてつぱん

S Foods

<https://www.sfoods.co.jp/>

年に1回のテクニカル試験に140人が挑戦 飲食店の生産性向上に貢献—プレコフーズ

総合食品卸の(株)プレコフーズ(本社=東京都品川区、高波幸夫社長)は、食肉加工に携わる社員の評価および人材育成の一環として、「テクニカル試験」を1月26日～3月7日に実施。人手不足が課題の飲食業界に支持を得ている食肉の加工サービス。その根幹を支える社員の食肉加工技術を評価する場として、年に1度、社内技術試験を実施しているもので、今年は約140人の社員が挑戦した。

同社は、1955年(昭和30年)に商店街の食鳥肉専門店として創業。1994年(平成6年)に卸売に転換し、現在約3万5千軒の飲食店に食材を配送している。

人手不足が課題の飲食業界で、飲食店から支持を得ているのが食肉の加工サービスだ。同社オリジナルブランド鶏は、産地直送で年間90万羽を手作業で解体し届ける。また飲食店のメニューに合わせ、グラム単位のカットやミリ指定のスライス、焼き鳥の串打ちなどさまざまな加工を行い、飲食店の生産性向上に貢献している。

テクニカル試験の内容は、①鶏解体と②その他食肉加工の二つの科目があり、品質、加工タイム、歩留まりで評価。科目ごとに三つのランク(T1、T2、T3)があり、解体やトリミングなどの加工技術以外に、チャーシュー加工なども試験項目に含まれる。鶏解体とその他食肉加工の両方の技術を持つ社員はダブル受験が可能となっており、最大でT3×2の計T6の取得が可能。現在のランクは問わず、新人からベテランまで試験を受けることができる。

さらに、最高位T6を獲得した従業員は年間72万円が付与されるなど、試験結果が次年度の給与評価にも反映される仕組みとなっている。この日のために上長と年間計画を作成し、日々練習して挑む社員も多く、社内に応援ポスターを掲示することで、会社全体で試験を盛り上げている。

こうした一連の取り組みは、従業員のモチベーションを強固なものとしており、生産技術室の中池純二次長(下写真)は、「日々の努力、成果が会社の利益

につながることで、また自身の給与に反映されることで自ずと生産性も向上する。また、力量が明確になることで日々の研さんにもつながる」と話す。今後について「テクニカル試験の内容は、開始当初からお客さまのニーズに合わせて変化してきた。現在は、牛肉の試験は2種類のため、今後の商品ニーズをみながら試験種目も増やしていきたい」とし、「鶏解体・その他食肉加工のジョブローテーションの実施により業務の属人化を防ぎ、通常業務の生産性を向上させたい。ジョブローテーションを行うことで、テクニカル階級を取得できる社員を増やし、会社としては社員の所得向上にもつなげていきたい」と抱負を語った。

高波社長は、「私も入社当初、日々社員と包丁を片手に鶏解体や食肉加工をしていた。会社の成長と共に、各部門でさまざまな機械化、効率化を導入しており、生産加工課に関しても、各種機械システム導入による効率化を進めているが、顧客の大半は個人経営の飲食店であり、店舗ごとに細かな加工やニーズも多く、人の手、人の技術だからこそ可能な食肉加工サービスも多くある。食肉加工部門の社員に対して、その加工技術の評価となる仕組みを作りたいという思いで2002年に開始したテクニカル試験においては、これまで最高位であるT6を獲得した達人レベルの社員が2人いる。お客さまのニーズにきめ細やかに添い続ける加工技術は当社飛躍の礎の一つであり、その技術ある社員を誇りに思っている」とつぶづっている。



チルド物流研究会と SM 物流研究会がチルド食品物流のガイドライン作成

一般社団法人日本スーパーマーケット協会、一般社団法人日本スーパーマーケット協会、オール日本スーパーマーケット協会は24日、「スーパーマーケット販売統計調査 記者発表会」を都内で開催。2月実績のスーパーマーケット調査結果報告、日本生活協同組合連合会供給実績の発表に続き、SM物流研究会(小売24社)が2025年度の活動報告と26年度方針について説明した。

さらにチルド食品を取り扱うメーカー10社(伊藤ハム米久ホールディングス、江崎グリコ、日清食品チルド、日清ヨーク、日本ハム、プリマハム、丸大食品、明治、森永乳業、雪印メグミルク)が参加する「チルド物流研究会」、一般社団法人日本加工食品卸協会(日本アクセス)、首都圏SM物流研究会(「チルド物流における物流課題の解決」分科会)が物流の適正化・効率化に向けた「チルド食品業界製配販行動指針(チルド食品物流のガイドライン)」を作成したことを発表。伊藤ハム米久ホールディングスの竹内大介加工食品事業本部物流統括部部長兼食肉事業本部食肉物流部部長(写真前列右から2人目)らが説明した。チルド物流研究会とSM物流研究会ではこのほど、「チルド物流研究会×SM物流研究会」を結成。物流の適正化・効率化に向けた「チルド食品業界製配販行動指針(チルド食品物流のガイドライン)」を作成した。この取り組みを通じて、「持続可能なチルド食品物流」を構築するための礎としていく。

「チルド物流研究会×SM物流研究会」結成の目的は、「持続可能なチルド食品物流」を構築するため、製配販が協力して物流課題に取り組むこと。チルド食

品物流は「チルド温度帯での配送」「多頻度・少量配送」といった各条件の中で成り立っており、物流



危機の高いカテゴリーと認識。食生活を支える社会インフラとしての責務を果たすため、サプライチェーン全体で本活動を推進する。「チルド食品業界製配販行動指針」は、すでに公表されている「物流の適正化・生産性向上に向けた荷主事業者・物流事業者の取組に関するガイドライン」対応の「加工食品業界製配販行動指針」の内容に倣い、作成した。①物流業務の効率化・合理化、②輸送荷役時の安全確保、③運送契約の適正化の3分類で構成。①では、優先度の高い事項として「納品リードタイムの確保」「検品の効率化・検品水準の適正化」「発注の適正化」などをあげている。②では、「運送時の安全対策」「荷役作業時の安全対策」、③では「運送契約の書面化」「物流事業者との協議」などをあげている。なお、同指針は毎年度、各項目を評価して数値化。数値の低い項目は分析を行い、協議・課題解決に向けて取り組む。また、物流の適正化・効率化に向けて、チルド物流の重要課題については製配販が分科会制度を採用して課題解決に取り組む。「荷役作業削減に向けた付帯作業定義」の分科会、「積載率改善に向けた納品条件の見直し」の分科会をそれぞれ設立するほか、3カ月毎に「全体会」を開催し、各分科会の進捗報告、その他の課題について協議する。(会見内容などは次号で掲載)

EU25 年農産品・食品輸出入額が過去最高を更新、日本向けは豚肉輸出等減

欧州委員会は13日、EUの2025年の農産品・食品貿易報告書を発表した。2025年のEU域外への農産品・食品の輸出額は前年比1%増の2384億ユーロ、輸入額は9%増の1886億ユーロで、ともに過去最高を更新した。輸出相手上位5カ国(金額ベース)は、英国(構成比23%)、米国(12%)に続き、スイス(6%)が入り、中国(5%)は前年の3位から4位に

後退した。日本は76億6100万ユーロ(3%)で5位となり、2024年と比較すると5億ユーロ減(前年比6%減)となった。主に豚肉輸出の減少(2億5700万ユーロ減、20%減)に加え、オリーブとオリーブオイル、果物、ナッツ、野菜の加工品の輸出額の減少によるもの。

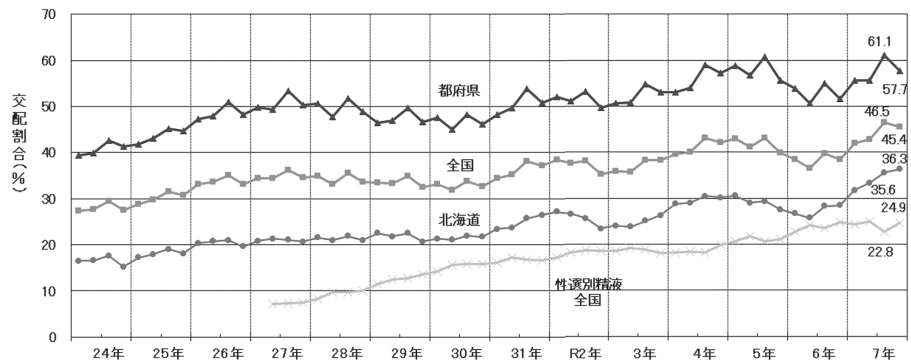
乳用牛への黒毛和種交配状況、第4四半期全国で6・9ポイント増

一般社団法人家畜人工授精師協会が公表した令和7年第2四半期(10~12月期)の乳用牛への黒毛和種の交配割合は、全国で45・4%(前年同期比6・9ポイント増)、北海道で36・3%(7・9ポイント増)、都府県で57・7%(6・1ポイント増)となった。また、性選別精液の割合は、全国で24・9%(0・1ポイント減)となっている。

まだ中間集計の段階だが、7年(1~12月)における

黒毛和種の交配割合は、全国で44・1%(5・7ポイント増)となっている。(9面参照)

乳用牛への黒毛和種精液及び性選別精液の交配状況



【SM販売統計調査 2月】 畜産品の売上高は前年同月比 4・0%増

日本スーパーマーケット協会など3団体がまとめたスーパーマーケット販売統計調査資料によると、2月の食料品売り上げ高は9453億7432万円(全店ベース前年同月比2・9%増)となった。

畜産品の売り上げ高は1203億6971万円(4・0%増)で、引き続き、価格高騰を背景に豚肉・鶏肉への需要シフトが継続している。牛肉は依然として相場高が継続しており、小間切れや切落しなど手頃な価格帯商品の動きがよかった。豚肉は、しゃぶしゃぶ

用、生姜焼き用など日常用途の商品が好調、大容量パックなども伸長した。鶏肉は相場高が続く中でもモモ・ムネなど定番部位は堅調だが、利益面では厳しいとの報告がみられた。ラム肉は高騰による影響を受け苦戦。味付肉や簡便商材は好調に推移したが、ハム・ベーコン・ソーセージ類は不振だった。

総菜の売上高は1188億3680万円(5・8%増)で、ゆるやかな単価上昇が進み、売り上げを確保できている店舗が多い。米飯類は引き続き堅調で、弁当、丼、おにぎり、すし類が伸長した店舗が多い。揚げ物や焼き物も好調で食卓需要が好調となった。節分の恵方巻関連は総じて好調に推移し、予約販売の強化など食品ロス削減の取り組みもさらに進み、功を奏している。一方でサラダ関連や冷総菜は青果相場安の影響を受け不振となった。新商品の投入や簡便ニ

ズへの対応により、支持を広がっているとの報告もみられた。

スーパーマーケット統計調査

2月	売上高	前年同月比	
		全店	既存店
総販売額	102,432,886	102.6%	101.4%
食料品	94,537,432	102.9%	101.6%
生鮮3部門合計	34,583,810	101.9%	100.7%
青果	14,102,521	99.4%	98.3%
水産	8,444,318	103.5%	102.3%
畜産	12,036,971	104.0%	102.7%
総菜	11,883,680	105.8%	104.3%
日配	20,702,930	103.2%	101.4%
一般食品	27,367,012	102.5%	101.8%
非食品	5,478,185	98.9%	98.5%
その他	2,417,300	101.1%	99.5%

※速報値 ※集計企業270社・8431店舗
JSA(日本SM協会)、全国スーパーマーケット、協会 AJS(オール日本SM協会)

エリア別集計	前年同月比 既存店
北海道・東北	101.1%
関東	102.2%
中部	101.8%
近畿	100.2%
中国・四国	100.8%
九州・沖縄	100.9%

【肉豚出荷予測】 4～6月は0・6%減、8月は8・8%減

農水省食肉鶏卵課は23日、2月から8月までの肉豚出荷予測を公表した。

2月は124万頭(前年同月比3・9%減)で平年を下回る見通し。3月は139万2千頭(2・9%増)で平年を下回る見通し。1～3月は404万2千頭(前年同期比0・1%減)で平年を下回る見通し。4月は139万頭(1・0%増)で平年並みの見通し。5月は117万4千頭(9・5%減)で平年を下回る見通し。6月は131万8千頭(7・1%増)で平年を上回る見通し。4～6月は388万2千頭(0・6%減)で平年を下回る見通し。7月は137万8千頭(7・5%増)で前年を上回る見通し。8月は107万4千頭(8・8%減)で平年を下回る見通しと予測している。

【肉豚出荷動向予測】

年・月	出荷・千頭	前年比%	1日あたり	価格
令和6年10	1,458	101.5	62,710	620
11	1,410	95.1	69,630	571
12	1,464	100.1	65,798	638
10～12月計	4,332	99.0		—
令和7年1	1,404	99.3	66,071	598
2	1,290	93.8	70,685	617
3	1,353	98.7	66,815	615
1～3月計	4,047	97.3		—
4	1,376	97.7	64,753	599
5	1,297	95.4	64,049	661
6	1,231	103.2	57,935	795
4～6月計	3,904	98.0		—
7	1,281	97.7	57,588	868
8	1,178	96.4	58,184	670
9	1,314	102.8	64,873	648
7～9月計	3,773	99.0		—
10	1,478	101.4	66,421	558
11	1,371	97.3	71,243	588
12	1,491	101.8	64,121	583
10～12月計	4,340	100.2		—
令和8年1	1,410	100.5	66,374	562
*2	1,240	96.1	64,416	—
*3	1,392	102.9	65,506	—
*1～3月計	4,042	99.9		—
*4	1,390	101.0	65,412	—
*5	1,174	90.5	64,329	—
*6	1,318	107.1	59,236	—
*4～6月計	3,882	99.4		—
*7	1,378	107.5	61,933	—
*8	1,074	91.2	53,037	—

【株】日本政策金融公庫が食品産業動向調査を発表

【株】日本政策金融公庫は5日、食品産業動向調査(令和8年1月)を発表した。

調査によると、景況DIはマイナス4・6と、前回(令和7年上半期)から1・4ポイント上昇したものの、依然としてマイナス水準となっている。令和8年度上半期の見通しも6・6であり、厳しい景況感となっている。

仕入価格DIは81・9(1・1ポイント増)と、高水準で推移。販売価格DIは58・7(3・6ポイント増)の微増となっており、物価高の価格転嫁が進む一方で、販売数量DIは15・8(0・7ポイント増)と前回調査と同様、需要の弱さが目立つ結果となった。令和8年上半期見通しでは、仕入価格DIは66・8(マイナス15・1ポイント減)、販売価格DIは47・8(10・9ポイント減)、販売数量は9・1(6・7ポイント増)と、改善傾向の

見通し。業種別景況DIは、製造業が2・6(5・9ポイント増)、飲食業が10・6(7・0増)と改善した一方で、卸売業0・5(7・6)、小売業5・7(5・7ポイント減)と落ち込んだ結果となった。

今後の経営課題は、全ての業種(製造業・卸先業・小売業・飲食業)において、人材確保が最多となっている。製造業は、価格転嫁を次点の経営課題に挙げており、卸売業は販路の多様化、飲食業と小売業は人材育成を次点の課題に挙げた。

国産農林水産物の調達は、全ての業種が「増加する」と回答した。特に飲食業は前回調査の7・9%から、21・3%と大幅に増加した。

国産農林水産物の安定調達を阻害する主な要因としては、「価格変動が大きい(68%)」「十分な量を確保できない(60・5%)」が挙げられた。

ギリシャのレスボス島で口蹄疫の発生を確認

ギリシャ農村開発・食料省は17日、同国のレスボス島の畜産農場で飼養されていた牛において、口蹄疫の発生を確認したと公表した。ギリシャでの口蹄疫発生は2001年以来、同島に限れば1994年以来となる。

レスボス島は、エーゲ海の北東部、トルコ沿岸に位置している。今回感染が確認された畜産農場では、牛38頭、羊250頭が飼養されており、このうち牛9頭から口蹄疫ウイルスが検出された。死亡例は確認されていない。感染源は現時点で不明である。

口蹄疫の発生を受けてレスボス島では、まん延を防ぐため、反芻動物や豚など口蹄疫に感受性のある動物およびその由来製品の移動禁止措置がとられた。また、農場内の家畜は殺処分される。

口蹄疫の発生を受け、日本は18日、ギリシャからの乳製品など(加熱等、口蹄疫ウイルスを不活化する処理がなされたことを確認されたものを除く)の輸

入を一時停止した。なお、2025年の同国からの輸入実績は、チーズが85tとなっている。また、ギリシャからの偶蹄類動物および肉製品、牛精液などの偶蹄類由来製品、穀物のわら、飼料用の乾草等については、家畜伝染病予防法に基づき輸入が禁止されている。英国政府も同様に、ギリシャからの生きた反芻動物や豚、それら由来の肉製品、特定の処理が行われていない牛乳・乳製品、干し草やわらなどの輸入を一時停止している。(農畜産業振興機構)

口蹄疫確認地点(2026年3月17日現在)



資料 国際獣疫事務局(WOAH)

スターゼン、畜産由来の温室効果ガス削減の取り組みを開始

スターゼンは、協力農場である北海道はまなか肉牛牧場(株)で、味の素(株)が提供する牛用アミノ酸リジン製剤「AjiPro®-L」を和牛へ給餌する取り組みを開始した。

同取り組みでは、肥育段階でAjiPro®-Lを給餌することで増体効率を高め、肥育日数の短縮や枝肉重量の増加を図るとともに、枝肉単位重量あたりの温室効果ガス(以下「GHG」)排出量の削減を目指す。さらに、その削減量をJ-クレジットとして価値化し農場へ還元することで、生産効率と環境負荷低減を両立する持続可能な畜産モデルの構築を推進していく。

気候変動は、家畜の生育環境に大きな影響を及ぼす重要課題であり、同社はサプライチェーン全体でGHG削減に取り組んでいく。2023年10月から、はまなか牧場において交雑牛にAjiPro®-Lを用いた飼料

を与えるトライアルを開始し、1日当たりの体重増加量が平均約10%向上、枝肉重量が約23kg増加する効果を確認した。

また、本トライアル条件に基づくGHG削減効果は、牧場全体で年間約100t(144頭/年の給餌が前提)と試算されている。今回の取り組みは、これらの成果を踏まえ、より付加価値の高い和牛での取組として展開するものとしている。

今後は、はまなか牧場において和牛肥育でAjiPro®-L導入を継続し、生産性や肉質、健康状態、GHG削減効果の検証を進めるとし、将来的には環境配慮型ブランド牛の開発や海外輸出における付加価値向上にも活用し、環境負荷低減と生産性向上を両立した、海外市場でも選ばれる和牛ブランドの確立に繋げていく。

デクノバース、ローストビーフの端材を利用した「濃厚ミートパイ 黒トリュフ」がジャパン・フード・セレクションでグランプリを受賞

(株)デクノバース(東京都世田谷区、平川歩夢代表取締役)が展開するD2Cブランド「THE ROAST BEEF(ザ・ローストビーフ)」は、看板商品である「濃厚ミートパイ 黒トリュフ」が、第97回 ジャパン・フード・セレクション食品・飲料部門において最高評価のグランプリを受賞したと発表した。本受賞は、16日に同アワードより正式発表されたものである。

ジャパン・フード・セレクションは、2万3千人規模の食の専門家「フードアナリスト」によって構成される、日本初の食品・食材の審査・認定制度である。味覚のみならず、視覚・嗅覚・触感といった五感全体、さらに商品ネーミングやブランドストーリー、パッケージデザインに至るまで、100項目におよぶ厳格な評価基準のもと、絶対評価方式で審査が行われる。その中でもグランプリは、総合的に極めて高い評価を獲得した商品にのみ授与される最高位の賞である。味の完成度だけでなく、ブランドとしての世界観や体験価値まで含めて認められた証とされる。

受賞した「濃厚ミートパイ 黒トリュフ」は、「THE ROAST BEEF」の主力商品であるローストビーフの製造過程で生まれる端材を活用し、新たな価値を見出した看板商品である。

同ブランドは、ローストビーフ専門ブランドとして培ってきた赤身肉の目利きと火入れの技術を活かし、端材であっても素材のポテンシャルを最大限に引き出すことを重視している。丁寧に煮込んだ牛肉に、甘みが立つまでじっくり炒めた玉ねぎを重ね、赤ワインとハーブで奥行きのある味わいに仕上げている。

さらに仕上げとして、香り高い黒トリュフを添えている。オーブンで温めることでバターの香りが広がり、カットした瞬間に黒トリュフと牛肉の旨味が立ちのぼる。端材とは思えないほど濃厚で、食べごたえと深いうまみの特徴の商品である。近年高まる食品ロス削減への関心や、スイーツ以外のギフト需要の拡大と



いった社会的背景の中で、本商品は「おいしさ」と「持続可能性」、さらに“人が集まるきっかけ”を生み出す商品として評価された。

「THE ROAST BEEF」事業責任者の酒井一輝氏(下写真)は、今回の受賞について、味だけでなくブランド設計や体験価値まで評価されたことが、これまでの取り組みの正しさを示すものになったとコメントしている。一方で、同ブランドの目標は受賞にとどまらず、「贈るブランド」からさらに進化し、“人が集まる理由をつくれるブランド”を目指すとしている。ローストビーフをきっかけに人が集い、語り合い、特別な時間を共有する場の創出に加え、食材の背景や食品ロスといった食の未来まで伝えられる存在を志向する考えだ。今後は「おいしいから選ばれる」だけでなく、「このブランドだから集まりたい」と思われる体験の提供を強化していく方針。今回の受賞を契機に、「THE ROAST BEEF」は次のフェーズへと進むとしている。



大東園「和牛ハラミフェア」開催

「おいしさと楽しさの創造」を理念に掲げる(株)甲羅(愛知県豊橋市、沼澤裕社長)が愛知県内で運営する焼肉「大東園」は、3月17日～5月10日の期間限定で、「和牛ハラミフェア」を開催する。希少部位の和牛ハラミを、焼き肉メニューとして楽しめる特別企画となっている。

焼き肉の中でも根強い人気を誇るハラミ。赤身のうまみとやわらかな食感をあわせ持ち、幅広い世代に親しまれている部位である一方で、和牛のハラミは1頭から取れる量も少なく、市場での流通量が限られ

ており、安定した仕入れが難しい希少部位でもある。同フェアは、特別に限定入荷した和牛ハラミを使用し、盛合せや食べ比べなど、ハラミの魅力をぞんぶんに楽しめる企画になっている。また、同フェアでは当日入会可能のLINE会員限定の特別価格を用意。対象メニューをよりお得に楽しめる。「希少な和牛ハラミを試してみたい」「いつもより少し満足感のある焼肉を楽しみたい」そんな人におすすめの特別なフェアとなっている。

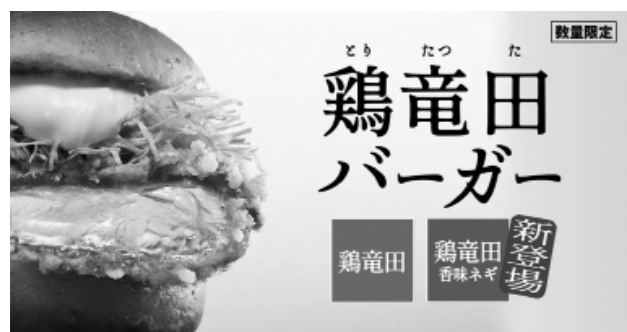
日本ケンタッキー・フライド・チキン、人気鶏竜田バーガーを数量限定再販

日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)(横浜市、遠藤久社長)は、全国のケンタッキーフライドチキン(以下KFC)で、昨年11月に発売し、好評を博し完売した「ケンタの鶏竜田バーガー」(税込み540円)を25日から数量限定で再発売する。あわせて、新商品「ケンタの鶏竜田バーガー香味ネギソース」(税込み590円)も同日より発売する。さらにタレントの佐藤菜里さん出演の新CM「復活! 鶏竜田バーガー」篇を同日より公開するほか、「ケンタの鶏竜田バーガー」の復活を記念したSNSキャンペーン「#鶏竜田ラブレター」を18日から順次展開している。

「ケンタの鶏竜田バーガー」は、開発に8年の歳月をかけて昨年11月に発売されたKFCの主力商品である。チキン専門店ならではの鶏モモ一枚肉による厚みとジューシーさが話題となり、発売から約1週間で約100万個を販売するなど高い人気を博した。

一方で、その人気の高さから想定を上回るペースで完売店舗が続出し、早期終売となった。販売終了後もSNS上では「鶏竜田バーガーがないと寂しい」「もう一度食べたい」といった再販を望む声が多数寄せられ、その件数は70万件を超えるなど、同社の新商品の中でも異例の反響となった。

こうした需要を受け、日本KFCは終売から約3カ月



という短期間で再発売を決定した。前回購入できなかった層や再販を望む層の需要取り込みを図る。

今回の再発売にあわせ、新商品「ケンタの鶏竜田バーガー香味ネギソース」が登場。同商品は、甘酸っぱい醤油ベースにネギとしょうがの風味を加えた特製ソースにより、竜田揚げの旨味を引き立てる和風の味わいが特徴である。辛味を抑え、幅広い層に受け入れられる設計とした。

同ソースは、過去に販売された「ドラゴンツイスター」のソースをベースに現代風に改良したものであり、従来のファン層にも訴求する商品と位置付ける。いずれも数量限定での販売となる。

商品開発担当者は、前回発売時に想定を上回る反響があったことに触れ、「再販を望む声に応えるため、短期間で準備を進めた」とコメントしている。新商

乳用牛への黒毛和種の交配状況(速報)

人工授精時期	項目	北海道	東北	関東	東海	北陸	近畿	中四国	九州	(参考)		
										都府県平均	全国平均	既調査県数
令和2年 1~12月	延べ人工授精頭数	1,023,462	40,623	76,107	16,359	6,192	19,090	20,908	29,751			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	262,674 (25.7)	15,558 (38.3)	40,413 (53.1)	9,446 (57.7)	3,321 (53.6)	11,520 (60.3)	14,137 (67.6)	18,981 (63.8)	(51.4)	(37.3)	46
令和3年 1~12月	延べ人工授精頭数	1,011,877	37,891	73,267	15,879	5,754	17,860	20,734	27,549			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	251,333 (24.8)	13,937 (36.8)	38,290 (52.3)	9,239 (58.2)	2,872 (49.9)	11,201 (62.7)	14,703 (70.9)	18,050 (65.5)	(52.2)	(37.0)	46
令和4年 1~12月	延べ人工授精頭数	934,137	32,672	65,774	14,427	4,584	16,772	16,820	23,097			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	276,605 (29.6)	13,702 (41.9)	37,468 (57.0)	8,357 (57.9)	2,515 (54.9)	11,299 (67.4)	11,832 (70.3)	15,792 (68.4)	(55.6)	(41.1)	46
令和5年 1~12月	延べ人工授精頭数	919,482	30,653	58,863	18,850	3,759	15,040	15,748	19,928			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	267,280 (29.1)	13,031 (42.5)	33,496 (56.9)	12,937 (68.6)	2,295 (61.1)	10,344 (68.8)	11,683 (74.2)	13,813 (69.3)	(58.1)	(41.8)	46
令和6年 1~12月	延べ人工授精頭数	849,622	29,361	57,438	17,921	3,487	14,059	14,251	18,015			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	231,670 (27.3)	11,666 (39.7)	30,039 (52.3)	12,067 (67.3)	2,054 (58.9)	9,599 (68.3)	10,463 (73.4)	11,691 (64.9)	(52.9)	(38.4)	44
令和2年 4~6月	延べ人工授精頭数	249,001	9,972	19,311	4,167	1,579	4,797	4,824	7,040			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	66,260 (26.6)	3,880 (38.9)	10,393 (53.8)	2,351 (56.4)	848 (53.7)	2,829 (59.0)	3,108 (64.4)	4,355 (61.9)	(51.1)	(37.6)	46
令和2年 7~9月	延べ人工授精頭数	254,346	8,998	15,844	2,825	1,432	4,030	4,179	5,529			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	65,263 (25.7)	3,506 (39.0)	8,622 (54.4)	1,750 (61.9)	810 (56.6)	2,681 (66.5)	2,760 (66.0)	3,675 (66.5)	(53.2)	(38.0)	46
令和2年 10~12月	延べ人工授精頭数	269,910	10,573	20,400	4,635	1,476	5,300	5,810	8,843			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	63,204 (23.4)	3,701 (35.0)	10,234 (50.2)	2,555 (55.1)	786 (53.3)	3,091 (58.3)	4,021 (69.2)	5,614 (63.5)	(49.7)	(35.2)	46
令和3年 1~3月	延べ人工授精頭数	245,005	10,097	20,161	4,511	1,556	4,654	5,578	7,609			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	58,997 (24.1)	3,594 (35.6)	10,136 (50.3)	2,625 (58.2)	770 (49.5)	2,760 (59.3)	3,864 (69.3)	4,883 (64.2)	(50.6)	(35.9)	46
令和3年 4~6月	延べ人工授精頭数	250,078	9,223	18,578	3,753	1,607	4,440	5,143	7,032			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	59,498 (23.8)	3,169 (34.4)	9,336 (50.3)	2,265 (60.4)	756 (47.0)	2,663 (60.0)	3,632 (70.6)	4,515 (64.2)	(50.7)	(35.8)	46
令和3年 7~9月	延べ人工授精頭数	256,473	8,768	15,924	3,174	1,314	4,057	4,689	5,415			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	64,336 (25.1)	3,400 (38.8)	8,692 (54.6)	1,921 (60.5)	724 (55.1)	2,750 (67.8)	3,410 (72.7)	3,774 (69.7)	(54.8)	(38.3)	46
令和3年 10~12月	延べ人工授精頭数	260,321	9,803	18,604	4,441	1,277	4,709	5,324	7,493			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	68,502 (26.3)	3,774 (38.5)	10,126 (54.4)	2,428 (54.7)	622 (48.7)	3,028 (64.3)	3,797 (71.3)	4,878 (65.1)	(53.1)	(38.2)	46
令和4年 1~3月	延べ人工授精頭数	228,460	8,755	18,295	4,282	1,240	4,497	4,348	6,747			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	65,810 (28.8)	3,531 (40.3)	10,023 (54.8)	2,454 (57.3)	633 (51.0)	2,877 (64.0)	2,808 (64.6)	4,404 (65.3)	(53.0)	(39.5)	46
令和4年 4~6月	延べ人工授精頭数	233,056	7,985	16,238	3,716	1,224	4,190	4,490	5,629			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	67,645 (29.0)	3,316 (41.5)	9,025 (55.6)	2,144 (57.7)	588 (48.0)	2,690 (64.2)	3,331 (74.2)	3,704 (65.8)	(54.0)	(40.1)	46
令和4年 7~9月	延べ人工授精頭数	230,557	7,489	14,173	2,597	984	3,751	3,626	4,305			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	70,220 (30.5)	3,222 (43.0)	8,487 (59.9)	1,508 (58.1)	559 (56.8)	2,676 (71.3)	2,704 (74.6)	3,157 (73.3)	(59.1)	(43.1)	46
令和4年 10~12月	延べ人工授精頭数	242,064	8,443	17,068	3,832	1,136	4,334	4,356	6,416			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	72,930 (30.1)	3,633 (43.0)	9,933 (58.2)	2,251 (58.7)	735 (64.7)	3,056 (70.5)	2,989 (68.6)	4,527 (70.6)	(57.1)	(42.1)	46
令和5年 1~3月	延べ人工授精頭数	221,400	7,476	15,366	5,302	1,030	4,080	3,672	5,484			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	67,708 (30.6)	3,291 (44.0)	9,034 (58.8)	3,605 (68.0)	613 (59.5)	2,789 (68.4)	2,572 (70.0)	3,808 (69.4)	(58.8)	(43.0)	46
令和5年 4~6月	延べ人工授精頭数	222,995	7,597	14,250	4,673	976	3,684	4,032	4,876			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	64,626 (29.0)	3,284 (43.2)	7,881 (55.3)	3,105 (66.4)	601 (61.6)	2,397 (65.1)	2,971 (73.7)	3,392 (69.6)	(56.8)	(41.2)	45
令和5年 7~9月	延べ人工授精頭数	223,335	6,454	12,252	3,566	855	3,284	3,146	3,701			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	65,544 (29.3)	2,836 (43.9)	7,252 (59.2)	2,584 (72.5)	557 (65.1)	2,476 (75.4)	2,466 (78.4)	2,672 (72.2)	(60.8)	(43.1)	45
令和5年 10~12月	延べ人工授精頭数	251,752	9,126	16,995	5,309	898	3,992	4,898	5,867			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	69,402 (27.6)	3,620 (39.7)	9,329 (54.9)	3,643 (68.6)	524 (58.4)	2,682 (67.2)	3,674 (75.0)	3,941 (67.2)	(55.6)	(39.9)	45
令和6年 1~3月	延べ人工授精頭数	218,244	7,932	16,035	5,386	959	3,651	4,028	5,259			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	58,199 (26.7)	3,194 (40.3)	8,523 (53.2)	3,463 (64.3)	516 (53.8)	2,411 (66.0)	3,087 (76.6)	3,458 (65.8)	(53.8)	(38.4)	44
令和6年 4~6月	延べ人工授精頭数	213,228	7,294	14,201	4,498	808	3,391	3,086	4,370			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	54,837 (25.7)	2,867 (39.3)	7,102 (50.0)	2,920 (64.9)	469 (58.0)	2,194 (64.7)	2,308 (74.8)	2,922 (66.9)	(50.6)	(36.5)	44
令和6年 7~9月	延べ人工授精頭数	198,947	6,243	11,391	2,820	779	3,026	2,949	3,099			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	56,285 (28.3)	2,549 (40.8)	6,230 (54.7)	2,021 (71.7)	516 (66.2)	2,299 (76.0)	2,116 (71.8)	2,090 (67.4)	(54.9)	(39.8)	44
令和6年 10~12月	延べ人工授精頭数	219,203	7,892	15,811	5,217	941	3,991	4,188	5,287			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	62,349 (28.4)	3,056 (38.7)	8,184 (51.8)	3,663 (70.2)	553 (58.8)	2,695 (67.5)	2,952 (70.5)	3,221 (60.9)	(51.6)	(38.5)	44
令和7年 1~3月	延べ人工授精頭数	207,233	6,847	15,087	4,879	845	3,667	3,723	4,469			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	65,849 (31.8)	2,959 (43.2)	8,406 (55.7)	3,286 (67.3)	438 (51.8)	2,598 (70.8)	2,897 (77.8)	2,988 (66.9)	(55.6)	(42.0)	44
令和7年 4~6月	延べ人工授精頭数	200,954	6,429	13,407	3,046	806	3,211	3,544	3,805			
	うち黒毛和種授精 (黒毛和種の割合:%)	67,061 (33.4)	2,876 (44.7)	7,205 (53.7)	1,999 (65.6)	439 (54.5)	2,210 (68.8)	2,687 (75.8)	2,666 (70.1)	(55.5)	(42.8)	44
(中間集計)	(黒毛和種の割合:%)	(33.4)	(44.7)	(53.7)	(65.6)	(54.5)	(68.8)	(75.8)	(70.1)	(55.5)	(42.8)	44

(注) 都府県平均及び全国平均は、都道府県毎の黒毛和種授精牛の割合(%)を、各年2月1日時点の成畜飼養頭数により加重平均したものであり、地域毎の数値の合計とは一致しません。

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 3月24日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A 76頭	高値	3,240	2,544	-	-	-
		安値	2,455	2,400	-	-	-
		平均	2,710	2,448	-	-	-
		頭数	62	14	-	-	-
	雌 B -頭	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
		頭数	-	-	-	-	-
	去 A 123頭	高値	3,781	2,512	2,386	-	-
		安値	2,380	2,376	2,316	-	-
		平均	2,660	2,458	2,368	-	-
		頭数	95	23	5	-	-
去 B -頭	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B 10頭	平均	-	1,774	1,639	1,612	-
		頭数	-	3	4	3	-
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	-
		頭数	-	-	-	-	-
去 B 23頭	平均	-	1,742	1,690	1,622	-	
	頭数	-	9	10	4	-	
去 C 4頭	平均	-	-	1,606	1,449	-	
	頭数	-	-	3	1	-	

と畜 売買	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
	348	889	-	(競り)	(相対)	
	297	938	65.5	-	10	42

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌 A	2,494	1,786	1,753	1,675	-	-
	B	-	-	1,730	1,452	1,261
和 去 A	2,510	2,343	-	-	-	-
	B	-	-	-	1,037	-
乳 雌 B	-	-	-	1,112	1,091	-
	C	-	-	-	1,096	1,059
乳 去 B	-	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌 B	-	-	1,690	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 去 B	-	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	729	745	714	691	652
	安値	705	670	637	594	346
	平均	716	698	675	646	488
	頭数	(5)	(345)	(353)	(167)	(68)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入 相対	高値	-	-	710	688	634
	安値	-	-	699	656	612
	平均	-	731	702	673	622
	頭数	(-)	(1)	(3)	(3)	(3)

[大阪食肉卸売市場] 3月24日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,635	2,433	-	-	-
(頭数)	(5)	(7)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	2,271	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(1)	(-)	(-)
和 去 A	2,607	2,422	-	-	-
(頭数)	(21)	(6)	(-)	(-)	(-)
B	2,376	2,316	-	-	-
(頭数)	(1)	(2)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,799	1,730	-	-
C	-	-	1,738	-	-
交雑去 B	-	1,795	1,773	-	-
C	-	1,800	-	-	-
豚	-	-	-	-	-

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	3月24日	3月23日	(3月累計)
豚	66,200	67,700	1,055,500
成牛計	4,170	4,300	68,560
和牛雌	970	860	15,940
和牛去勢	840	1,280	17,950
乳牛雌	870	460	10,590
乳牛去勢	390	570	6,900
交雑雌	650	530	8,750
交雑去	450	600	8,410

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 3月24日

東京	1,650 円(前日 1,583 円)
大阪	1,773 円(前日 1,727 円)

[豚・全農建値] 3月24日

上	中	取引頭数	市況
687 円	665 円	1,187 頭	反発

と畜 売買	牛 49 頭	豚 74 頭	牛概況	もちあい
	牛 61 頭	豚 - 頭	豚概況	

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 3月24日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	659 (659)	- (-)	6,014	-	もちあい
仙台 [中]	659 (606)	634 (489)	472	35	続伸
栃木 [地]	- (672)	- (-)	1,525	4	-
茨城 [地]	675 (-)	655 (-)	1,273	510	上伸
群馬 [地]	683 (695)	653 (635)	2,008	1,494	下押し
さいたま [中]	679 (663)	663 (643)	282	291	反発
東京 [中]	698 (678)	675 (652)	889	938	上伸
横浜 [中]	684 (692)	659 (658)	650	659	反落
山梨 [地]	708 (-)	693 (-)	146	100	上伸
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	-
名古屋 [中]	672 (667)	656 (643)	943	224	続伸
京都 [中]	712 (669)	694 (657)	78	97	もちあい
大阪 [中]	- (778)	- (762)	74	-	-
神戸 [中]	728 (-)	726 (-)	-	135	-
岡山 [地]	677 (684)	670 (674)	386	246	-
広島 [中]	694 (701)	665 (667)	444	50	反落
福岡 [中]	648 (648)	611 (614)	568	193	もちあい

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 3月17日~3月23日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

[食鳥正肉日経相場] 3月23日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇首都圏 総重量 1,517,606 kg

◇東京 (8社)

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,164	1,214	1,261	1,212	58,540
うで	767	799	839	804	132,689
ロース	1,084	1,156	1,244	1,158	145,412
ばら	1,188	1,232	1,304	1,242	148,519
もも	783	821	856	826	176,903
ヒレ	1,069	1,106	1,122	1,099	15,341
セット	1,002	1,058	1,094	1,056	840,202

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	762	841	1,008	206
ムネ	440	509	653	178

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	752	838	1,050	3
ムネ	455	524	610	2

◇近畿圏 総重量 742,007 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,204	1,257	1,369	1,278	61,242
うで	721	743	807	744	119,813
ロース	1,096	1,188	1,264	1,191	102,226
ばら	1,218	1,326	1,379	1,305	133,201
もも	732	756	826	765	164,337
ヒレ	1,134	1,253	1,398	1,256	12,274
セット	993	1,034	1,119	1,044	148,914

[農水省統計情報部食鳥市況] 3月23日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽サ	ササミ
高値	1,097	680	550	600	650
安値	805	460	290	360	350
平均	853	520	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日期間中(1週間分)に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ(単価・重量)を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値(加重平均値)。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

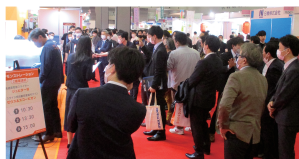
銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP)
<https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、プラネット判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャンネルが多元化化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

平野正男 著
鏡 晃 著
A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ

牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版

牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーションナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します